

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | 概ね2ヶ月に1度の開催基準に去年は達しなかった。年間6回以上の開催と認知症介護をめぐる地域への広報と相談活動の実施が課題。 | ①奇数月開催とし、2ヶ月に1回を目標に開催する。②年2回の地域に開かれた「在宅での認知症介護」について相談会を開催する。 | ①既に1月16日開催し、会議出席者に奇数月開催を伝え、次回日程を決めた。②2ヶ月おきに発行している法人の会報で、相談会の開催をお知らせする。管理者、代表者、職員が相談を受ける。 | 12ヶ月 |
| 2 | 13 | 開所から日も浅いことから、職員研修に力を入れたい。特に、入居者に安心、安全なケアサービスを提供し、提供する職員も同様に安心して働ける環境を整えていくためにリスクマネジメントの研修が課題となっている。 | ①グループホームの運営基準を繰り返し学習し、職員全員で討論する。②介護事故から学ぶリスクマネジメントの研修 | ①月1回の職員ミーティングを回数を増やし学習する。②リスクマネジメントの講習を受けている代表者を講師に半年かけて研修会を数回開催する。③外部のリスクマネジメント講習会に、まず管理者を参加させる。 | 12ヶ月 |
| 3 | 33 | 終末を予想される入居者の看取りと重度化介護について、本格的な学習はこれからで、医師、看護師との連携と、やまなみの指針を学ぶ課題 | ①最上地方で在宅訪問医療を行っている開業医を講師に、最上地域グループホーム連絡会で学習会を開催する(連絡会で話し合われている)。②指針に基づいて、ホーム内で学習会を開催する。 | ①医師を講師とする学習会は今年中に開催する。②ホーム内の学習会は年3回予定する。講師は代表者。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。